

CRLけいはんなオープンラボ研究推進協議会
運営・研究部会
高機能ネットワーク分科会活動報告・計画
(案)

2004年4月21日

高機能ネットワーク分科会

高機能ネットワーク分科会の活動方針

○ 分科会の構成

- リーダー : 北山 研一 (大阪大学 教授)
- サブリーダー : 山中 直明 (慶應義塾大学 教授)
- 鈴木 正敏 (KDDI研究所 執行役員)
- 岡本 聡 (NTTネットワークサービス研究所 主任研究員)
- 楠木 久継 (NTTコミュニケーションズ 部長)
- 高田 俊和 (NEC基礎研究所 主席研究員)

○ WGの設置と主な活動目標

- 相互接続性検証WG (主査: 山中、副主査: 鈴木、岡本)
 - キャリア間/AS間インタフェース (E-NNI) の相互接続性の検証
 - 日本発の技術を共同開発し、国際標準へ向けて提案
 - 世界初のGMPLSの広域接続実験とオープンサイトの形成
- フォトニックWG (主査: 楠木)
 - 幹線系及びアクセス系ネットワーク並びにインターネットにおける情報伝達機能を光領域で行う技術について実証実験を実施
- グリッド・アプリケーションWG (主査: 高田)
 - 高機能NW社会を創出するアプリケーションソフトウェアの研究開発
 - 高速・高機能NWでの実証実験を通してアプリケーションの有効性追求
 - 広域接続実証実験の検討及び国際フォーラムなどへ寄与

高機能ネットワーク分科会の活動概要

○ 分科会の活動概要

- プロジェクトのサポート、各WG・プロジェクト間の連携・交流の推進
- 共同研究や研究会のプロモーション、学会研究会と連携した研究成果の公表の推進
- 新規テーマの創出、将来的課題の実現に向けた企画・検討

○ これまでの分科会活動

・ 会合

- 第1回分科会会合（5/29 関経連 中会議室）
 - 運営・研究部会（第3回）報告
 - 高機能ネットワーク分科会活動報告
 - WG活動報告
- 第2回分科会会合（10/30 関経連 291号室）
 - 経過報告
 - ワーキンググループおよび個別プロジェクト活動状況報告
 - 運営・研究部会への活動報告案について
 - コンソーシアム連絡会について
- 第3回分科会会合（3/30 CRLけいはんな大画面実験室）
 - 今年度の活動経過報告および平成16年度の活動計画について
 - ワーキンググループおよび個別プロジェクト活動状況報告
 - 運営・研究部会および総会への対応について

・ 行事等

- 開所式(6/13)
- 開所式デモ実験(PIL, KDDI)(6/12-13)
- CRL研究発表会(7/1)
- 大臣来所(8/25)

- 第3回分科会施設見学会(3/30)
- 第5回運営・研究部会施設見学会(4/21)

高機能ネットワーク分科会の活動実績(平成15年度)

	4月	7月	10月	1月
高機能ネットワーク分科会	△ (5/29)分科会設置 (分科会会合1)	△ (8/21)事務局打ち合わせ	△ (10/30)分科会会合2	△ 年次報告
相互接続性検証WG	△ (4/3)WG会合1	△ (6/4)WG会合2 ↔ (6/12-13)SPJ1,SPJ2実験 ↔ (6/26-27, 6/30-7/4)PJ1,SPJ1,SPJ2	△ (8/21)WG会合3 ↔ (9/16-9/19)PJ1,SPJ1,SPJ2	△ (3/10)WG会合4 年次報告 ↔ (2/3-6)PJ1実験
フォトニックWG	△ (6/10)WG会合1		メールなどにより随時情報交換を行う ↔ (11/10-11/14)p5 実験(NTT-PF)	△ 年次報告 ↔ (3/10)第2回会合 ↔ (1/19-1/23)p1実験(NTT) ↔ (1/19-1/23)p2実験(富士通) ↔ (1/19-1/23)p5実験(日立) ↔ (2/3-2/6)p5実験(富士通) ↔ (2/4-2/6)p5実験(NEC) ↔ (3/1-3/5)p3・4実験(富士通、NTT)
グリッド・アプリケーションWG		△ (7/3)WG会合1	メールなどにより随時情報交換を行う	△ (3/26)WG会合2 年次報告
個別プロジェクト	↔ (6/9-6/24)k1ラボ実験	↔ (8/18-10/21)k1ラボ実験	→	△ 年次報告
オープンラボ関連の動き	(4/17)運営・研究部会(第3回) (6/13)開所式	(7/1)CRL研究発表会 (8/25)大臣来所 (7/30)企画・広報部会(第1回)	(10/29)コンソーシアム連絡会(第1回) (11/19)運営・研究部会(第4回) (10月末)相互接続WG共同研究契約成立	(2/13)コンソーシアム連絡会(第2回)

高機能ネットワーク分科会の活動スケジュール(平成16年度)

	4月	7月	10月	1月
高機能ネットワーク分科会				
相互接続性検証WG	△ WG会合5 ↔ PJ1実験	△ WG会合6 ↔ PJ1実験 ↔ PJ4 NW実験	△ WG会合7 メールなどにより時情報交換を行う ↔ PJ1実験 ↔ PJ2相互接続実験	△ WG会合8 年次報告 ↔ PJ1実験
フォトニックWG	↔ (6月頃)p5実験(NTT)	↔ (7月頃)p5実験(富士通、NEC) ↔ (7月~8月頃)p3・4実験(富士通、NTT) ↔ (第2~3四半期)実験(日立コミュニケーションテクノロジー)	↔ (下期)p1・2実験(NTT、富士通) ↔ (下期)p5実験(富士通) ↔ (下期)p5実験(日立) ↔ (秋頃)p5実験(NEC)	↔ メールなどにより随時情報交換を行う 年次報告 ↔ (第4四半期)p3・4実験(富士通、NTT、阪大、東大) ↔ (第4四半期)実験(沖電気)
グリッド・アプリケーションWG		△ WG会合3	メールなどにより随時情報交換を行う	△ WG会合4 年次報告
個別プロジェクト	↔ (5月初旬~6月中旬)k2実験 ↔ (5月初旬~6月中旬)k3実験 ↔ (6月中旬~8月中旬)k1実験		↔ (下期)k2実験 ↔ (下期)k3実験	△ 年次報告
オープンラボ関連の動き				

オープンラボ利用プロジェクト一覧

<相互接続性検証WG>

- PJ1: 標準GMPLS相互接続性検証プロジェクト
- PJ2: キャリア間接続 物理インタフェース開発検証プロジェクト
- PJ3: キャリア間接続 論理インタフェース開発検証プロジェクト
- PJ4: Nation Wide GMPLS網構築プロジェクト
- SPJ1: 拡張GMPLSプロトコルに関する広域接続性検証
- SPJ2: GMPLSを用いたIPv6ルータ間相互接続検証プロジェクト
- SPJ3: GMPLSキャリア網モデル化に関する研究

<フォトニックWG>

- p1: フォトニックネットワークに関する光アクセス網高速広帯域通信技術の研究開発 (NTT)
- p2: フォトニックネットワークに関する光アクセス網高速広帯域通信技術の研究開発 (富士通)
- p3: 光バーストスイッチングを用いたフォトニックネットワーク技術の研究開発 (NTT)
- p4: 光バーストスイッチングを用いたフォトニックネットワーク技術の研究開発 (富士通)
- p5: テラビット級スーパーネットワーク技術の実証実験

<グリッド・アプリケーションWG>

- ・IPv6/IPsecに準拠したGRID対応通信技術の開発
- ・グリッドネットワーク上での高精細映像伝送システムの開発
- ・光ネットワークの特性を利用した新しいユーザ主導型サービスモデルの研究
- ・高速ネットワークを用いたサービスアプリケーション構築手法の研究開発

<個別プロジェクト>

- k1: 高機能光分岐挿入ノード
- k2: 光符号拡散多重技術を用いた光通信システムに関する研究
- k3: 時空間光信号処理を用いた超高速ラベル認識に関する研究

相互接続性検証WGの活動トピック(1)

WG活動目標

- 光トランスポートのグローバルな相互接続性の鍵となるキャリア間／AS間インタフェース(E-NNI)に焦点を絞り、日本発の技術を共同開発し、国際標準へ提案
- 世界初のGMPLSの広域接続実験とオープンサイト(標準GMPLS検証/最先端GMPLS開発コード検証等)の形成
- 活動成果の広報

研究開発プロジェクト

(A) 共同研究プロジェクト (13社)

PJ1. 標準GMPLS相互接続性検証(C-Plane/D-Plane)プロジェクト

PJ2. キャリア間接続物理インタフェース開発検証プロジェクト

PJ3. キャリア間接続論理インタフェース開発検証プロジェクト

PJ4. Nation Wide GMPLS網構築プロジェクト

(B) 施設利用型個別プロジェクト

SP1. 拡張GMPLSプロトコルに関する広域接続性検証

SP3. GMPLSキャリア網モデル化に関する研究

体制

主査: 山中 直明 (慶應義塾大学 教授)

副主査: 鈴木 正敏 (KDDI研究所 執行役員)、
岡本 聡 (NTT 主任研究員)事務局兼務

構成員: NTT、KDDI研究所、NTTコミュニケーションズ、KDDI、NEC、
日立製作所、日立コミュニケーションテクノロジー、富士通、富士通研、
古河電工、三菱電機、アンリツ、NICT(CRL)

WGの活動状況

・会合

- 4/3 WG会合(第1回)
- 6/4 WG会合(第2回) CRL小金井
- 6/30 PJ1会合(第1回) CRLけいはんな
- 7/24 PJ2会合(第1回) CRL小金井
- 8/21 WG会合(第3回) CRL小金井
- 9/12 PJ3会合(第1回) CRL小金井
- 9/16 PJ1会合(第2回) CRLけいはんな
- 3/10 WG会合(第4回) CRL小金井

・研究・実験

- 6/13 デモ実験(PIL, KDDI)
- 6/26-6/27, 6/30-7/4 PJ1検証実験(1)
- 9/16-9/19 PJ1検証実験(2)
- 11/25-28 PJ1検証実験(3)
- 2/3-2/6 PJ1検証実験(4)

・今後の予定

- PJ1:IAを作成し、オープンサイトの形成をめざす
- PJ2:OTNインターフェース技術の検証を開始する
- PJ3:E-NNIのプロトコル仕様を制定し、標準化活動を進める
- PJ4:GMPLS広域接続実験を行う
- テクニカルトピックスの学会等への発表を積極的に行う。また、標準化機関へのコントリビューションを進める

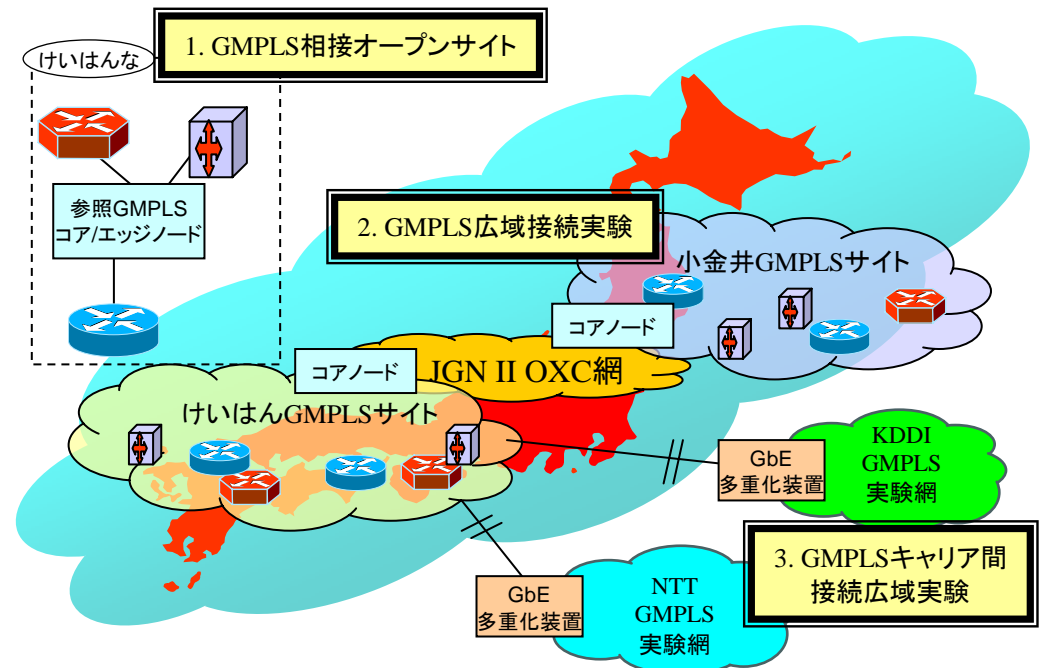
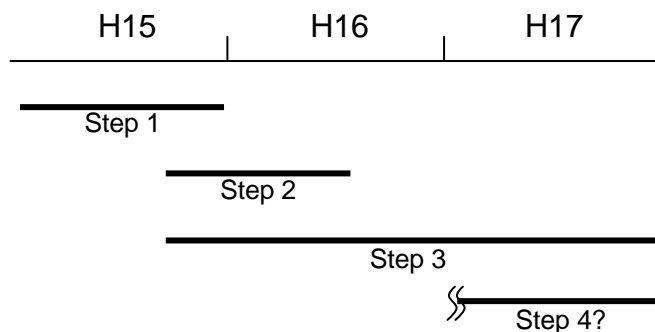
・参考

- NDA調印完了(12/24)
- 共同研究契約FIX(10/31)

相互接続性検証WGの活動トピック(2)

E-NNI研究の進め方

- Step-1 基本検討
 - 現在の状況と既存プロトコルを机上検討
 - 現状(市販)装置のI-NNI相互接続実験
- Step-2 机上検討と標準化提案(検討中)
 - 研究会的活動
- Step-3 E-NNIプロトタイプ
 - PC上に試作
- Step-4 E-NNI実網実験



フットニックWGの活動トピック

WG活動内容

- 幹線系及びアクセス系ネットワークならびにインターネットにおける情報伝達機能を光領域で行う技術について実証実験を行う。

研究開発プロジェクト

委託研究「フットニック」

- ・ フットニックネットワークに関する光アクセス網高速広帯域通信技術の研究開発
- ・ 光パス最適化技術
- ・ フットニック高速復旧技術の検証実験

委託研究「光バースト」

- ・ 光バーストスイッチングを用いたフットニックネットワーク技術の研究開発

委託研究「テラビット」

- ・ テラビット級スーパーネットワーク技術の実証実験
など

体制

- 主 査: 楠木 久継 (NTTコミュニケーションズ)
- 事務局: 松岡 英晃 (NTTコミュニケーションズ)
- 構成員: NTT、富士通、沖電気、日本電気、日立、日立コミュニケーションテクノロジー、阪大、東大

フットニックWGの活動スケジュール

- ・ 年1~2回程度、WGミーティングを開催（フットニックネットワーク開発推進協議会との連携も検討）

フットニックWGの活動状況

- ・ 会合
 - ・ 9/10 テラビットPJ会議（武蔵野）
 - ・ 10/6 光バーストPJ会議（日比谷）
 - ・ また、随時メールベースでの意見収集や調整を実施
 - ・ 3/10 WG会合（CRL小金井）
- ・ 研究・実験
 - ・ フットPJ 1月に実施
 - ・ バーストPJ 3月に実施(Phase 1)
 - ・ テラビットPJ 11月中旬、および12月~3月の間のべ2~3週間程度実施
- ・ 今後の予定
 - ・ メールベースでの情報交換や意見調整を行い、年次報告（実証実験成果等）の準備を進めていく。
 - ・ 必要に応じて、参画各社連携による研究の方向性を確認・検討するため調整会議を開催する。

グリッド・アプリケーションWGの活動トピック

○ 活動方針

高機能ネットワーク社会を創出するアプリケーションソフトウェアの研究開発

■グリッドアプリケーション分野

高速ネットワーク上のソフトウェア基盤として注目されているグリッドソフトウェア技術に対応したFundamentalミドルウェアの研究開発

■ネットワークサービスアプリケーション分野

高速・高機能ネットワーク技術の適用領域拡大を目的としたネットワークアプリケーションの研究開発

■グリッドアプリケーション・ネットワークサービスアプリケーション実証実験

高速・高機能ネットワークでの実証実験を通してアプリケーションの有効性追及

○ 研究開発プロジェクト

1. IPv6/IPsecに準拠したGRID対応通信技術の開発
2. グリッドネットワーク上での高精細映像伝送システムの開発
3. 光ネットワークの特性を利用した新しいユーザ主導型サービスモデルの研究
4. 高速ネットワークを用いたサービスアプリケーション構築手法の研究開発

○ グリッド・アプリケーションWGの構成

主査：高田 俊和（NEC基礎研究所 主席研究員）

事務局：笠井 秀明（NEC関西支社 マネージャー）

構成員：NEC、KDDI、日立製作所、松下電器産業 アドバイザ：下條真司

○ グリッド・アプリケーションWGの活動スケジュール

- ・年3回程度、WGミーティングを開催

○ グリッド・アプリケーションWGの活動状況

・会合

- － 7/3 WG会合（NEC）
- － 3/26 WG会合（NEC）

・研究・実験（活動内容）

- － 4月～6月 WG発足準備のためメールを中心に情報交換を実施。
- － 各研究テーマ間の整合及びWG内共通目標の調整

・今後の予定

- － H16年度第1回のWG会合は7月開催予定
- － 今年度の現地活動はNEC、KDDI、日立、松下の4社となる。
- － 今年度の研究・実験は研究開発環境の整備を踏まえPJによっては実証実験本格化の予定

参考資料

相互接続性検証WGの活動計画(平成16年度)

WG活動目標

- 光トランスポートのグローバルな相互接続性の鍵となるキャリア間/AS間インタフェース(E-NNI)に焦点を絞り、日本発の技術を共同開発し、国際標準へ提案
- 世界初のGMPLSの広域接続実験とオープンサイト(標準GMPLS検証/最先端GMPLS開発コード検証等)の形成
- 活動成果の広報

研究開発プロジェクト

(A) 共同研究プロジェクト (13社)

PJ1. 標準GMPLS相互接続性検証(C-Plane/D-Plane)プロジェクト

NICT(CRL)、NEC、富士通、KDDI研、KDDI、日立、日立-C、三菱電機、NTT、NTT-C、古河電工 (11社)

PJ2. キャリア間接続物理インタフェース開発検証プロジェクト

NICT(CRL)、NEC、富士通、富士通研、KDDI研、日立、日立-C、三菱電機、NTT、アンリツ (10社)

PJ3. キャリア間接続論理インタフェース開発検証プロジェクト

NICT(CRL)、NEC、富士通研、KDDI研、日立、日立-C、三菱電機、NTT (8社)

PJ4. Nation Wide GMPLS網構築プロジェクト

NICT(CRL)、NEC、富士通、富士通研、KDDI研、KDDI、日立、日立-C、三菱電機、NTT、NTT-C (11社)

(B) 施設利用型個別プロジェクト

SP1. 拡張GMPLSプロトコルに関する広域接続性検証

Photonic Internet Lab. (NTT、NEC、日立、富士通、古河電工、三菱)

SP3. GMPLSキャリア網モデル化に関する研究

KDDI研

E-NNI研究の進め方

●Step-1 基本検討

-現在の状況と既存プロトコルを机上検討

-現状(市販)装置のI-NNI相互接続実験

●Step-2 机上検討と標準化提案(検討中)

-研究会的活動

●Step-3 E-NNIプロトタイプ

-PC上に試作

●Step-4 E-NNI実網実験

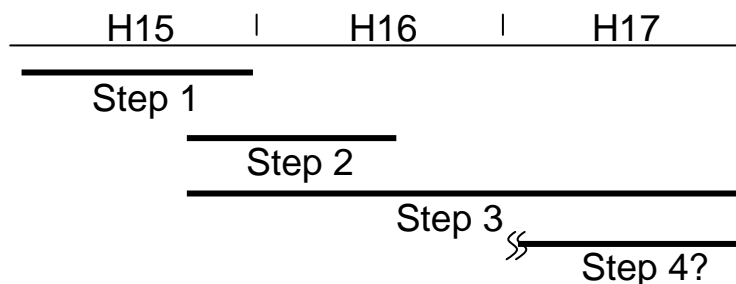
体制

主査: 山中 直明 (慶應義塾大学 教授)

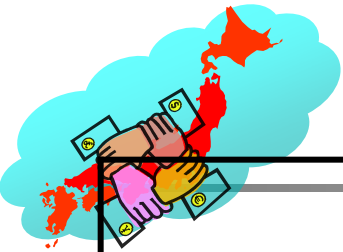
副主査: 鈴木 正敏 (KDDI研究所 執行役員)、
岡本 聡 (NTT 主任研究員)事務局兼務

構成員: NTT、KDDI研究所、NTTコミュニケーションズ、KDDI、NEC、日立製作所、日立コミュニケーションテクノロジー、富士通、富士通研、古河電工、三菱電機、アンリツ、NICT(CRL)

運営・研究部会(第5回)



相互接続性検証WG研究開発プロジェクトスケジュール



	2003年度	2004年度	2005年度
標準GMPLS相互接続性検証(C-Plane/D-Plane)プロジェクト	計画立案 ラボ接続実験、広域接続実験を随時実施		総合検証実験
キャリア間接続物理インタフェース開発検証プロジェクト	計画立案 仕様検討	ラボ検証試験	総合検証実験
キャリア間接続論理インタフェース開発検証プロジェクト	計画立案 仕様検討	プロトコル開発	総合検証実験
Nation Wide GMPLS網構築プロジェクト	計画立案 SDH網接続実験	OTN網接続実験	総合検証実験
拡張GMPLSプロトコルに関する広域接続性検証	計画立案	サブPJとして接続実験を随時実施	
GMPLSを用いたIPv6ルータ間相互接続性検証プロジェクト	計画立案	サブPJとして接続実験を随時実施	



相互接続性検証WGの活動報告

・会合

- 4/3 WG会合(第1回)
- 6/4 WG会合(第2回) CRL小金井
 - プロジェクト全体の概要意識合わせ
 - 個別プロジェクトの進め方の議論
- 6/30 PJ1会合(第1回) CRLけいはんな
 - プレ検証実験の意識合わせ(項目、進め方)
- 7/24 PJ2会合(第1回) CRL小金井
 - λ-IF技術、OTN-IF技術の現状、キャリア間接続形態の議論
- 8/21 WG会合(第3回) CRL小金井
 - PJ1会合、PJ2会合の報告
 - SPJの概要紹介
- 9/12 PJ3会合(第1回) CRL小金井
 - E-NNI接続におけるC-planeについて
- 9/16 PJ1会合(第2回) CRLけいはんな
 - PJ1プレ検証実験の反省
 - 今後の計画案、検証実験のスケジュール
- 3/10 WG会合(第4回) CRL小金井
 - PJ1~PJ4の活動報告、今後の進め方について
 - 年次報告書および継続申請について

・研究・実験

- 6/13 デモ実験(PIL, KDDI)
- 6/26-6/27, 6/30-7/4 PJ1検証実験(1)
- 9/16-9/19 PJ1検証実験(2)
- 11/25-28 PJ1検証実験(3)
- 2/3-2/6 PJ1検証実験(4)

・今後のWG活動トピックス

- PJ1: IAを作成し、オープンサイトの形成をめざす
- PJ2: OTNインターフェース技術の検証を開始する
- PJ3: E-NNIの Protokol仕様を制定し、標準化活動を進める
- PJ4: GMPLS広域接続実験を行う
- テクニカルトピックスの学会等への発表を積極的に
行う。また、標準化機関へのコントリビューションを進める

・参考

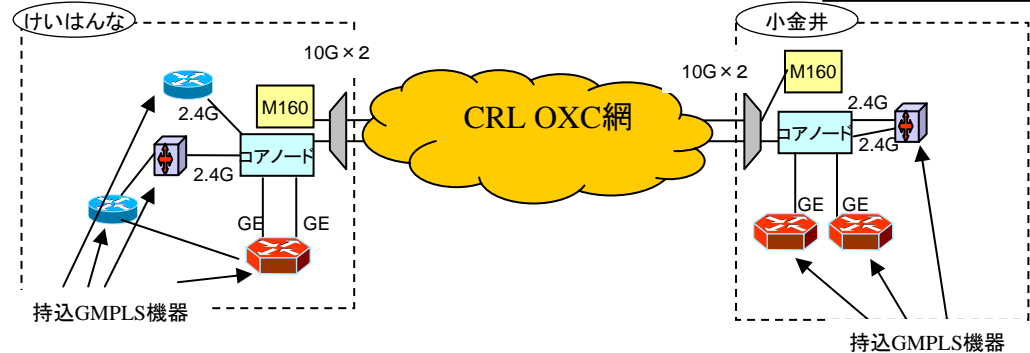
- NDA調印完了(12/24)
- 共同研究契約FIX(10/31)

相互接続性検証WGの研究活動と研究環境

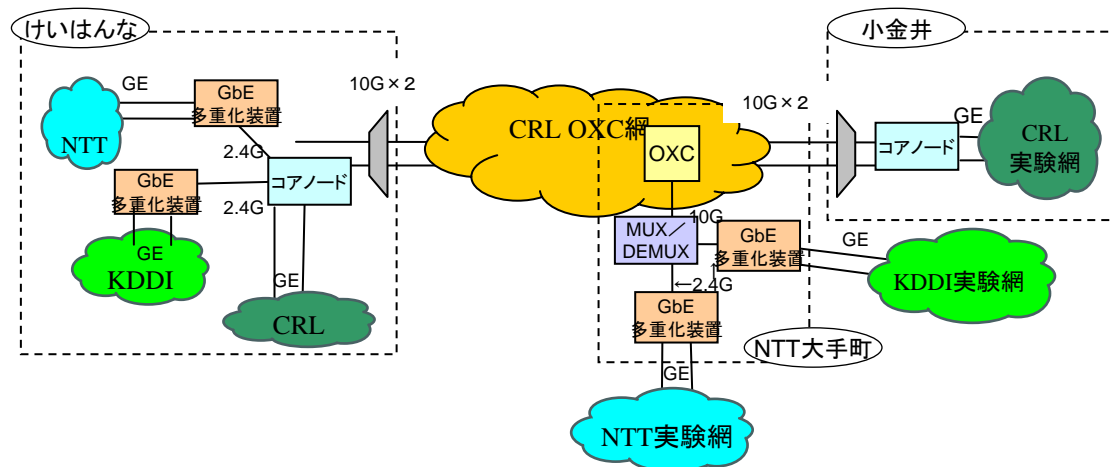
WGの具体的な研究活動項目

1. GMPLS相互接続性検証オープンサイトの構築
2. GMPLS広域接続実験環境の構築
3. キャリア間接続GMPLS広域接続実験

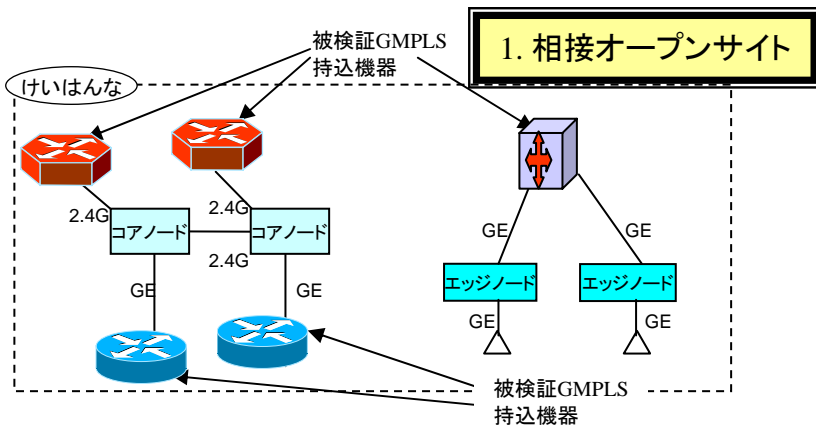
2. 広域接続実験



3. キャリア間接続広域接続実験



1. 相接オープンサイト



フォトリックWGの活動計画

WG活動内容

●幹線系及びアクセス系ネットワークならびにインターネットにおける情報伝達機能を光領域で行う技術について実証実験を行う。

研究開発プロジェクト

委託研究「フォトリック」

- ・フォトリックネットワークに関する光アクセス網高速広帯域通信技術の研究開発
- ・光パス最適化技術
- ・フォトリック高速復旧技術の検証実験

委託研究「光バースト」

- ・光バーストスイッチングを用いたフォトリックネットワーク技術の研究開発

委託研究「テラビット」

- ・テラビット級スーパーネットワーク技術の実証実験
など

体制

主 査：楠木久継（NTTコミュニケーションズ）

事務局：松岡英晃（NTTコミュニケーションズ）

構成員：

NTT、富士通、沖電気、日立、

日立コミュニケーションテクノロジー、

日本電気、阪大、東大

○ フォトリックWGの活動スケジュール

- ・年2～3回程度、WGミーティングを開催

（フォトリックネットワーク開発推進協議会との連携も検討）

フォトニックWG研究開発プロジェクトスケジュール

PJテーマ名	平成15年度	平成16年度	平成17年度
フォトニックネットワークに関する光アクセス網高速広帯域通信技術の研究開発	連携実験 ↔	連携実験 ↔	
光パス最適化技術		実験 ↔	
フォトニックの高速復旧技術の検証実験		実験 ↔	
光バーストスイッチング技術の連携実験(Phase1)	連携実験 ↔	連携実験 ↔	
光バーストスイッチング技術の連携実験(Phase2)			連携実験 ↔
テラビット級スーパーネットワーク技術の実証実験	CDN/IPレイヤでの転送系検証 ↔	光パスレイヤでの転送系検証 ↔	統合的な検証 ↔

フットニックWGの活動報告

● 会合

- 9/10 テラビットPJ会議（武蔵野）
 - 今年度の利用計画について協議
- 10/6 光バーストPJ会議（日比谷）
 - 今年度の利用計画について協議
- 3/10 WG会合（CRL小金井）
- 随時メールベースでの意見収集や調整を実施

● 研究・実験

- ・ 1/19-1/23 フットニックPJ
- ・ 3/1-3/5 光バーストPJ
 - ・ a) 光バーストスイッチのネットワーク構成・制御技術
 - ・ b) 光バーストスイッチング技術の連携実験
- ・ テラビットPJ
 - ・ 11/10-11/14 実験(NTT)
 - ・ 1/19-1/23 実験(日立)
 - ・ 2/3-2/6 実験(富士通)
 - ・ 2/4-2/6 実験(NEC)

● おもな成果発表(予定を含む)

フットPJ

- ・ 「SCマルチキャリア光源を用いた広帯域・高光周波数確度の光波長ルーティングの検討」
(H16.9 電子情報通信学会ソサイエティ大会予定)

バーストPJ

- ・ 今年度の共同実験の成果を来年度学会（国際会議, 2004年9月）にて発表予定。

● 今後の予定

- ・ 施設利用による研究の実施
- ・ メールベースでの意見交換、年次報告の準備を進めていく。

グリッド・アプリケーションWGの活動計画

○ グリッド・アプリケーションWGの活動内容

高機能ネットワーク社会を創出するアプリケーションソフトウェアの研究開発

●グリッドアプリケーション分野

高速ネットワーク上のソフトウェア基盤として注目されているグリッドソフトウェア技術に対応した Fundamentalミドルウェアの研究開発

●ネットワークサービスアプリケーション分野

高速・高機能ネットワーク技術の適用領域拡大を目的としたネットワークアプリケーションの研究開発

●グリッドアプリケーション・ネットワークサービスアプリケーション実証実験

高速・高機能ネットワークでの実証実験を通してアプリケーションの有効性追求

○ グリッド・アプリケーションWGの構成

主 査：高田 俊和（NEC基礎研究所 主席研究員）

事務局：笠井 秀明（NEC関西支社 マネージャー）

構成員：NEC、KDDI、日立製作所、松下電器産業 アドバイザ：下條真司

○ 研究開発プロジェクト

1. IPv6/IPsecに準拠したGRID対応通信技術の開発
2. グリッドネットワーク上での高精細映像伝送システムの開発
3. 光ネットワークの特性を利用した新しいユーザ主導型サービスモデルの研究
4. 高速ネットワークを用いたサービスアプリケーション構築手法の研究開発

○ グリッド・アプリケーションWGの活動スケジュール

- ・年1～2回程度、WGミーティングを開催

グリッド・アプリケーションWGの活動報告

- 会合
 - 7/3 WG会合 NEC
 - WG全体概要及び各社研究テーマの説明
 - 施設利用の説明
 - 今後のスケジュールの確認
 - 3/26 WG会合 NEC
- 研究・実験（活動内容）
 - 4月～6月 WG発足準備のためメールを中心に情報交換を実施。
 - 各研究テーマ間の整合及びWG内共通目標の調整、社内での研究開発、具現化検討
- 今後の予定
 - 第2回のWG会合は11月開催予定
 - 今年度の現地活動はNEC、KDDIが中心となり、日立、松下は研究内容の具現化確定に向けた社内活動が中心となる。
 - 今年度の研究・実験は研究開発環境の整備を踏まえ、PJによっては実証実験本格化の予定